

平成25年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	地殻エネルギー・フロンティアの科学と技術
研究代表者	土屋 範芳
審査の所見	<p>本研究は、従来型地熱開発の対象温度領域である 200℃～300℃を超え、よりエネルギー密度が高く、かつ熱水流体と岩石との相互作用が弱くなると予想される 400℃～500℃の地下熱環境を開発するための先進的地熱システムに関する学術研究を推進するものである。</p> <p>応募者らは、既に超臨界流体と岩石との相互作用に関する総合的な研究で世界トップレベルの研究成果を上げてきており、今回の独自開発装置による実験的研究において革新的な研究成果が期待できる。</p> <p>また、本研究の実施により、極めて社会的要請の高い地熱資源に関して、斬新な研究成果が期待され、これらの社会的な要請に十分応えられることが見込まれる。</p> <p>以上により、特別推進研究に相応しい研究として採択すべき課題であると判断した。</p>